



## CONTENTS

### Top Opinion

都市エンターテインメント、楽しみの予感

三井不動産(株) 建設企画部長

三井不動産エンジニアリング(株) 代表取締役社長 雨宮 克也

1

### VOICE

スイス鉄道旅行のすすめ

J R東日本 伊藤 雄太

2

### たすきリレー

街歩き ～J R東日本鉄道OB会建設支部主催～

3

### 今月の国際比較データ

5

### PF書店／私のインフラ巡礼／編集後記

6

## Top Opinion

### 都市エンターテインメント、楽しみの予感

三井不動産(株) 建設企画部長

三井不動産エンジニアリング(株) 代表取締役社長 雨宮 克也

久しぶりにJ R南船橋駅に降り立った。この辺りは三井不動産グループが事業を展開してきたエリア、船橋ヘルスセンター跡地に日本で最初の郊外型大規模商業施設、ららぽーとを開業したことに始まる。1993年に室内スキー場のザウスがオープン、やがて閉鎖。今その周辺はイケアやロジスティックパーク、アイスパーク（スケートリンク）となっている。今年新たに、ららテラスTOKYO-BAY（駅前商業施設）とLaLa arena TOKYO-BAY（大型多目的アリーナ）が開業した。ららテラスの約5,000m2の大規模広場空間、MIXI FUN PARKではフードフェスやスポーツイベントが行われる。アリーナは地元千葉ジェッツの本拠地、こけら落としはミスチルのライブだった。駅周辺のこれらの施設全体が、これから様々なスポーツや音楽、芸術の、まさに都市エンターテインメントの発信地となるだろう。



企業がスポーツを支援し、その拠点の街づくりを進めていくのは都市・地域戦略の王道であり、他の国でも同じだ。しかし、もし日本特有の、を見出すとするとやはり鉄道インフラの存在であろう。明治以降の近代化の中で、日本における鉄道の発展の先進性に疑問の余地はない。ただ少し境域的にみると、TODのDの対象としての都市エンターテインメント施設（スタジアム、アリーナ、コンサートホールなど）はやや取り残されてきた感がある（本年3月の本誌第124号、岸井先生のご指摘に同じ）。

コロナの時、もう人は都市に戻らない、とまで言われた。しかし戻ってきた。ただ、少し様子が違う。スポーツ、芸術、文化など、多様なリアルに触れることを求めて人は都市に戻ってきたのだ。都市の主役・中心がオフィスであった当たり前がいつの間にか変わった。コロナの混乱とその克服が、都市のあり様の転換を後押ししたようだ。

（次頁に続く）



### 私のインフラ巡礼



～通潤橋～

農業用水を送るために建設された日本最大級の石造アーチ水路橋  
(鉄建建設 山内 真也さん)

未来構想PFのホームページ  
(HP) をご覧ください。

会員はもちろん社会に大きく開かれた「参加型」HPです。

未来構想PF

検索

で検索してください。

トップページへのリンクは

[こちら](#)



そうなる鉄道と駅、そして駅からの動線・ネットワークは、集散する人々を交通量として「捌く」だけの機能では不十分となる。これらは安全・安心を確保しながら、都市エンターテインメントの一部としてのデザイン・整備・マネジメントが期待されることとなろう。鉄道利用そのものが都市エンターテインメントとなるのだ。

ふと、シンガポール・チャンギ国際空港の複合施設、ジュエルの光景が頭にシンクロした。鉄道がスタジアムを通り車窓からランドを見下ろし駅に到着。そこからウィンドショッピング、バーに寄ってビールを一杯、気分を盛り上げていよいよ自分のシートへ…。

そんな都市エンターテインメント、楽しみの予感はやがて実感となるでしょう。

VOICE

スイス鉄道旅行のすすめ

J R東日本 伊藤 雄太

1. はじめに

私は幼少のころから乗り物全般に興味があり、なかでも日本の鉄道とは考え方が異なる欧州の鉄道に強い興味がありました。コロナ禍が明け、久しぶりに欧州を旅行できましたので、欧州各国の中でも特に特徴があるスイスの鉄道についてこの場をお借りして記してみたいと思います。

2. 基本情報

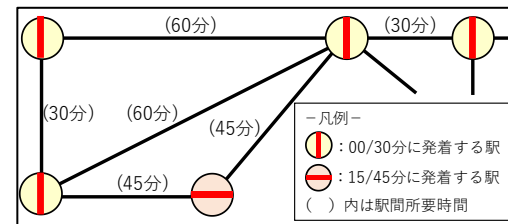
スイスはヨーロッパのほぼ中央に位置し、南北220km、東西384km、九州と同程度の面積を有する国です。国土の約7割は山岳地帯ですが鉄道延長は約5,200kmとかなり発達した路線網を有しています。また、郵便馬車を起源とするポストバスと呼ばれる路線バスも多く地域で運行されており、公共交通機関が非常に発達した国であると思います。

スイスの鉄道と言うと、氷河急行に代表される絶景区間を走る観光列車に注目が集まりがちですが、スイスの鉄道オペレーションには大きな特徴があります。例えば、駅の時刻表では早朝・深夜を除いて発着時刻が綺麗にパターン化され、乗換案内アプリで乗継がある経路を検索しても時間帯による所要時間の変化がほとんどありません。

これは1987年からスイス連邦鉄道（以下、スイス国鉄）が推進しているBahn2000と呼ばれる鉄道改良計画の成果によるものです。

3. Bahn2000計画による鉄道改良

スイスやドイツ等の国々は中規模の都市が国内に分散しているため、古くから特急列車の相互接続等による利便性向上の工夫がされてきました。Bahn2000計画はこの取り組みをさらに発展させ、国内全土で旅客列車のパターンダイヤ化、高頻度化、所要時間短縮を目指すものです。スイスでは国土が狭く、独・仏のように高速新線を多数整備しても時間短縮効果が小さいため、乗継の最適化により所要時間短縮を目指している点が特徴です。主要駅において列車相互の接続を実現するため、結節駅では毎時00分、30分（15分、45分もあり）を軸に列車を集め、数分間の乗継時間を設けた後に発車するTaktfarplanと呼ぶダイヤが組まれています。しかし複数の駅でこのようなダイヤを成立させるには、図①のように駅間の所要時間が30の倍数よりも若干短い時間で結ばれる必要があります。そのため所要時間が30の倍数よりも長い区間では、複線化や線形改良、平面交差の解消、車体傾斜装置付車両の導入、それでも解決しない場合は最小限の高速新線の建設等、様々な施策を組合せて効率的に所要時間の短縮が行われています。例えばスイス国内の重要幹線であるベルン～チューリッヒ間では、両駅間の所要時間が1時間を超えていたため一部区間にスイス初となる高速新線を整備して所要時間が56分に短縮されました。



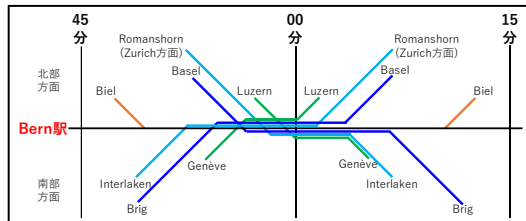
図① Taktfarplanの考え方

結節駅の発着状況を可視化するため、ベルン駅に14時前後に発着する長距離列車のダイヤ図を作成しました。図②では00分の数分前に列車が到着し、数分間の乗継時間の後に出発している様子わかります。6時台～22時台まで毎時00分、30分において同様のパターンが繰り返されます。さらにパターンダイヤ化、接続時間の最適化はスイス国鉄の列車のみならず、私鉄列車や路線バスにも適用されており、小さな駅でも各列車、路線バスの乗継が効率よく行われる様子が見られました。

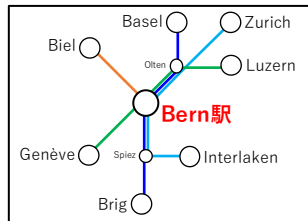
結節駅の発着状況を可視化するため、ベルン駅に14時前後に発着する長距離列車のダイヤ図を作成しました。図②では00分の数分前に列車が到着し、数分間の乗継時間の後に出発している様子わかります。6時台～22時台まで毎時00分、30分において同様のパターンが繰り返されます。さらにパターンダイヤ化、接続時間の最適化はスイス国鉄の列車のみならず、私鉄列車や路線バスにも適用されており、小さな駅でも各列車、路線バスの乗継が効率よく行われる様子が見られました。



これらの取組みによりスイスの鉄道利用者数は増加しており、近年では容量不足や混雑による遅延発生が課題とされているようです。



図② ベルン駅の長距離列車発着イメージ



図③ 列車系統イメージ



一斉に列車が集まるチューリッヒ中央駅の様子 (7:55分撮影)

#### 4. おわりに

Bahn2000計画は国民投票を経て国費で実施されているほか、スイス国鉄や各私鉄は自治体から多額の補助金を受けて運営されているため、単純に日本の鉄道と比較することは適切ではありません。しかしながら、公共交通の弱点である乗換の利便性をネットワーク全体で解決するための1つのアプローチとして非常に参考になる事例であると思います。

是非、スイスを旅行する際には鉄道を利用して変化に富んだ車窓を楽しむとともに、特徴ある運行方法を体感されてみてはいかがでしょうか。

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。

連絡先：未来構想 PF 事務局 大口

電話：03-4334-8157 メール：[info@miraikoso.or.jp](mailto:info@miraikoso.or.jp)

〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28

### たすきリレー

#### 街歩き

～J R東日本鉄道OB会建設支部主催～

J R東日本鉄道OB会建設支部では、毎年いろいろなテーマで「街歩き」を実施している。今回のテーマは「江戸から明治維新を辿る」で、谷中霊園や上野公園をめぐる約2時間のコースである。11月29日、爽やかな秋晴れに恵まれ、参加者18名、山手線鶯谷駅南口に集合、江戸東京ガイドの案内で2班に分かれて散策スタート。

#### ① 徳川家霊廟

霊廟とは江戸幕府の将軍職を務めた歴代将軍の墓所である。初代家康は久能山・日光東照宮に、2代秀忠は増上寺に、3代家光は日光輪王寺にそれぞれ建立されている。いずれも江戸時代の華麗な建築技術・意匠を集めた建築群である。8代将軍吉宗は、経費削減から「御霊屋建立禁止令」を出し、寛永寺か増上寺のいずれかの霊廟に合祀することとし、新たに霊廟を建立することを禁止した。13代将軍家茂の側には、妻篤姫も埋葬されている。別の場所への埋葬がしきたりだが、篤姫が没したのが明治だったので、本人の希望がなかったとか。

#### ② 谷中霊園

15代将軍慶喜は長生きし、亡くなったのは大正2年で谷中霊園に墓がある。徳川家を滅亡させた責任を感じて徳川家霊廟への合祀を遠慮したとのこと。谷中霊園への埋葬には幾多の反対があったが、渋沢栄一の仲介で実現したようだ。渋沢栄一は、ひととき大きな敷地に妻たちと一緒に埋葬されている。大河ドラマに決まったので、東京都が大木の移設を含み大整備したようだ。谷中霊園には長谷川一夫をはじめ多くの有名人の墓所があり、ゆっくり見て回ると一日でも回り切れないとか。今回は森繁久弥の墓を見学した。

#### ③ 寛永寺

寛永寺は家康の庇護のもと天海僧正により寛永2年(1625)に、京都の延暦寺を模して創建された。上野戦争で多くを焼失、現在の



根本中堂は明治になってから川越の喜多院本地堂を移築したものだ。全国の寺社では一般に「本堂」があるが、根本中堂の略字だとか。京から江戸に逃げ帰った慶喜が2カ月間蟄居生活を送った建物が寛永寺に現存している。蟄居中に勃発した上野戦争で、敗戦を知ると水戸に逃げ謹慎したとか。

#### ④ 国際子ども図書館と黒田記念館

こども図書館には世界中の子どもの絵本などの蔵書があり、親子で一度は訪れてほしい場所だ。黒田記念館には日本洋画の先駆者黒田清隆の絵があるが入場無料。いずれも建築物として貴重だとか。

#### ⑤ 上野東照宮

家康・天海僧正とウマのあった藤堂高虎が創建したもので、国の重要文化財に指定されている。本堂入口に並ぶ御三家の灯籠は、尾張・紀伊・水戸の格式順に並んでおらず、紀伊・水戸・尾張となっている。創建前年に尾張藩の代替わりがあり、ちょっと遠慮したとか？

#### ⑥ 時の晩鐘

江戸時代の“時”は“鐘の音”で庶民に伝えられた。音が聞こえる範囲を考え各所に設けられていたが、上野精養軒の横に当時のものが現存している。

#### ⑦ 上野大仏

建立当時は6mの高さだったが、現在はお顔のみがレリーフとして保存されている。度重なる大地震や火災で4回も首が落ち、最近では「これ以上落ちない」と受験生に人気とか。

#### ⑧ 清水観音堂

天海僧正の提案で京都清水寺を模して創建され、不忍池を臨む舞台もある。上野戦争では立てこもる彰義隊に向かって不忍池の向こうから新式の大砲が撃ち込まれ、これで大敗が決定的になったとか。その時の玉が本堂に2発飾られていた。

#### ⑨ 彰義隊の墓

徳川幕府を支持する藩士や新政府に不満を抱く武士が集まり「彰義隊」と名乗った。上野の山に立てこもり新政府軍と対峙したが、武力に勝る新政府軍が半日で彰義隊を壊滅した。激戦地であり多くの隊士の

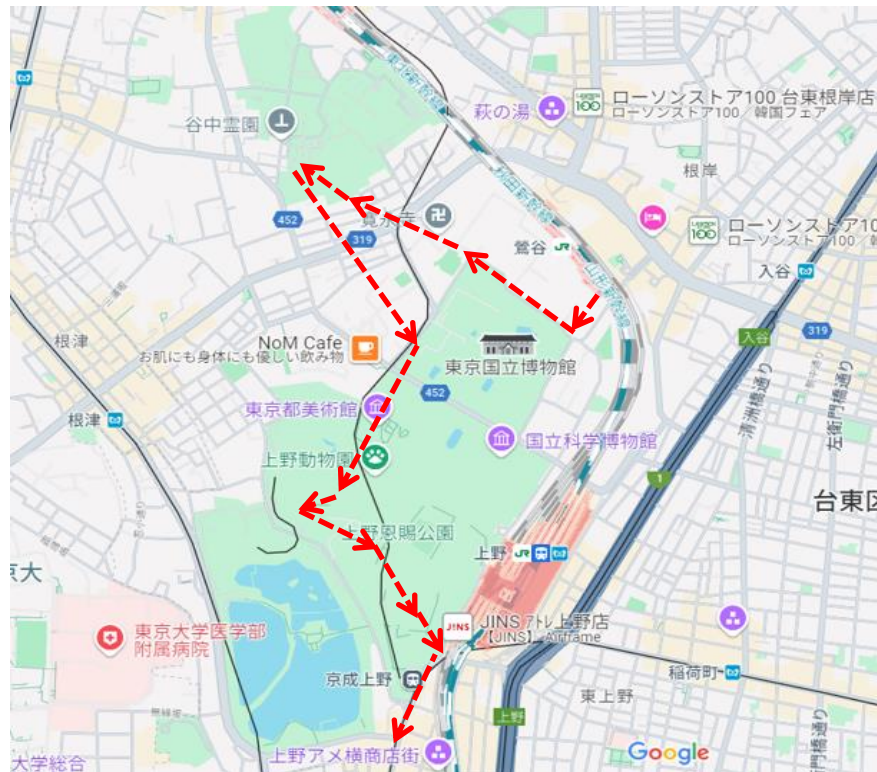
遺体の火葬場となった当地に、明治になりようやく建立が認められた。

#### ⑩ 西郷隆盛銅像

銅像の建立が決まったが、本人の写真がないため弟やいとこの顔を参考に作成したとか。政府に反乱したことから軍服は却下され着流しになった。作者は、人物は高村光雲、犬は光雲の弟子後藤貞行、合作である。

街歩き終了後、不忍の池の傍の居酒屋で反省会（懇親会）。2時間ウォーキングのあとのビールは最高で、ワイワイと蘊蓄を語り合い、江戸から明治へと激動の変革を遂げた明治維新の余韻に浸った。

(JR東日本鉄道OB会建設支部事務局)





写真① 徳川家霊廟



写真② 森繫久弥墓所



写真③ 寛永寺根本中道



写真④ 上野東昭宮



写真⑤ 上野大仏



写真⑥ 西郷隆盛銅像



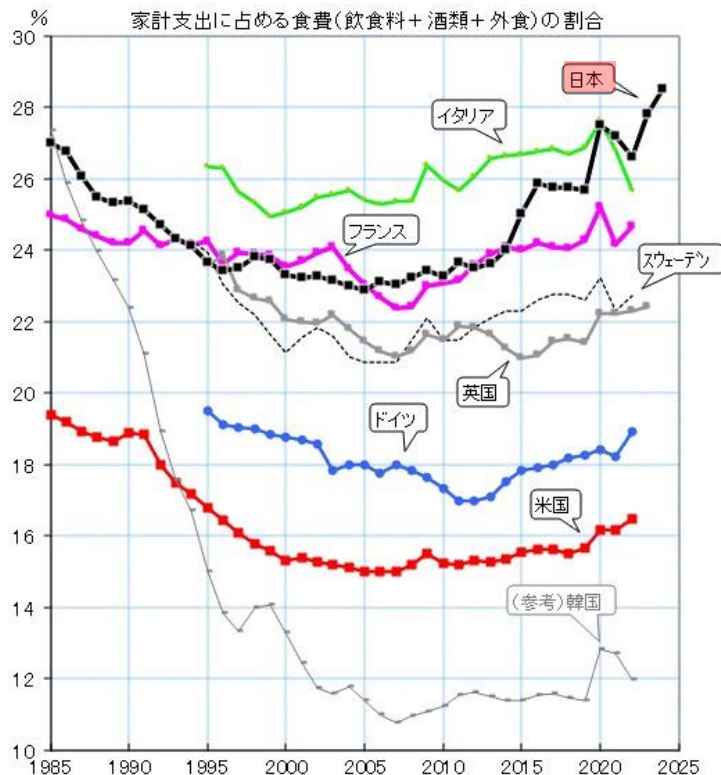
今月の国際比較データ



●エンゲル係数の国際比較

物価高が叫ばれる今日この頃ですが、最近ではエンゲル係数（家計に占める食費の割合）がさらに上昇しているとのニュースがありました。他の国ではどのようになっているのでしょうか。今月は先進国G7のエンゲル係数についての比較を紹介します。

日本のエンゲル係数は28%超と先進国G7の中で断トツの1位となっています。高齢化、共働き世帯の拡大、食料価格上昇という3つの要因が世界の中でも特に日本で大きく作用していることが、エンゲル係数の水準がG7トップにまで躍り出た理由だと考えられているようです。



(出所) 総務省統計局「家屋調査」、OECD Data Explorer



PF 書店



本の題名をクリックすると、出版社の書籍紹介HPにリンクします！

### ① 眠れる進化 (アンドレアス・ワグナー 著 早川書房)

『眠れる進化』でイノベーションの概念が変わった。イノベーションは既知の組み合わせで即効性があるものと思っていたが、ほとんどのイノベーションは過去に発想されるも、時代にマッチせずに、著者の言う「眠り姫」状態に陥る。得られた教訓は「いまは成果が見えなくても、将来的に成功する可能性があることを念頭に置いて地道に活動を継続することへの重要性。そのような視点を持つことができれば、キャリアの中で遭遇するさまざまな挑戦や困難に対しても柔軟に対応することが可能になる」。素晴らしい提言である。

### ② 新しい現場力 (遠藤 功 著 東洋経済新報社)

この20年で低下した現場力をアップデートしなければならない。そのための方策を示す『新しい現場力』。示唆に富んだ内容が数多くあるが、その一例として「新しい現場力」のポイントとして、①「厄介な問題」に対応する ②「つながる力」を高める ③「フロントエンド現場力」を強化する ④「多様性」を活かす ⑤テクノロジーと共存し「現場実装」する、の5つを挙げている。これらの要素を上からのタスク的な姿勢ではなく、自社・従業員の成長につなげるために、各要素をリーダーが有機的につなげていくことが重要である。

### ③ ダーウィンの隠された素顔

(ピエール・ジュヴァンタン 著 法政大学出版局)

種の起源で有名なダーウィン。ペンギンの研究で知られるフランスの動物行動学者の著書『ダーウィンの隠された素顔』。進化論をめぐるダーウィン右派と左派の対立と抗衡を基本として、両派の間で揺れ動いたダーウィン自身の真意を探り当てようとした。長い間沈黙したダーウィンは何を訴えたかったのか。確信した唯物論者であったダーウィンは、この右派と左派の対立勢力の相互補完的な均衡を見つけること、競争と協同の均衡を図ることを目指していたようだ。右派と左派が派生するほどダーウィンの進化論は偉大である。



私のインフラ巡礼



### 「通潤橋」 (熊本県山都町)



通潤橋全景



布田保之助さんの銅像

通潤橋は、1854年(嘉永7年)、熊本県の四方を河川に囲まれた白糸台地に農業用水を送るために建設された長さ約78.0m、高さ21.3mの大きさを誇る日本最大級の石造アーチ水路橋です。当時、水不足に悩んでいた白糸台地に住む民衆を救うため、時の惣庄屋『布田保之助』が肥後の石工たちの持つ技術を用いて建設し、昭和35年に国の重要文化財に指定され、令和5年9月には国宝に指定されました。今でも白糸台地の約100ヘクタールの水田を潤しています。ちなみによく目にする放水は、通水管に詰まった堆積物を取り除くために行われているようです。通潤橋前には資料館もありますので、当時の石造の通水管の仕組みなどご興味ある方は、熊本へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。(鉄建建設(株) 山内 真也さん)

### 編集後記

今年も早いもので残りわずかとなりました。恒例の今年の漢字は「金」でした。オリンピック・パラリンピックの日本人選手などの活躍と政治の裏金問題などの影の明暗を表したものでした。今月のVOICEのコーナーで執筆していただいた伊藤さんの「スイス鉄道旅行のすすめ」を読んでいると、久々にヨーロッパへ行きたくなってきました。(A.I)